

# V

## 語学試験について

交換留学制度の派遣先大学の中には、所定の語学検定試験の基準点以上の語学力を要件としている大学があります。基準点以上の語学力を獲得できるよう、早めに準備を始めるようにしましょう。

### 1 英語

#### TOEFL (Test of English as a Foreign Language)

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、英語を母国語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストです。大学の授業やキャンパス等の実生活でのコミュニケーションに必要な読む、聞く、話す、書くの4技能を総合的に判定します。現在、日本ではTOEFL-iBT (Internet-Based Testing) のみ受験できます。

TOEFL は、Reading、Listening、Speaking、Writing の4セクションで構成されており、テストセンターで一人に1台割り当てられたコンピュータ上で全セクションを受験します。テスト所要時間は4~4.5時間です。全セクションでメモをとることが可能で、Speaking セクションではマイクに向かって話します。Speaking と Writing のセクションでは、同時に複数の技能を測定する問題 (Integrated Task) もあります。

スコアは受験した日からおよそ10日後にオンライン上で確認することができます。点数に加え、「スコアの持つ意味」の解説 Performance Descriptor も示されます。

テストは、全国各地の会場で年間30~40回程度 (主に土、日曜日) 実施されています。必要があれば一年に何度でも受験することが可能です。

申込みは、オンライン (ETS の TOEFL-iBT 公式ページの My Home Page から申し込む)、郵送、電話で受け付けています。受験

TOEFL iBT テストの構成

セクション	問題数・形式	時間	スコア
Reading	3-4パッセージ 各12-14問 (1パッセージ 約700語) ・選択問題 ・文を挿入する問題 ・グループ分けする問題 など	60-80分	0-30
Listening マイク付き ヘッドセット使用	2-3会話 (1会話 約3分) 各5問 4-6講義 (1講義 約3-5分) 各6問 ・選択問題 ・表を完成させる問題 など	60-90分	0-30
休憩10分			
Speaking マイク付き ヘッドセット使用	<b>Independent Tasks 2問</b> (準備: 15秒 解答: 45秒) ・好みと理由を問う問題 ・支持する意見と理由を問う問題 <b>Integrated Tasks 4問</b> - Read + Listen → Speak 2問 (準備: 30秒 解答: 60秒) ・要約する問題 (大学生生活を想定) ・問いに答える問題 (講義を想定) - Listen → Speak 2問 (準備: 20秒 解答: 60秒) ・要約する問題 (大学生生活を想定) ・問いに答える問題 (講義を想定)	約20分	0-30
Writing タイピングのみ (手書き不可)	<b>Integrated Task 1問</b> - Read + Listen → Write (150-225語程度) ・要約する問題	20分	0-30
	<b>Independent Task 1問</b> (300語程度) ・意見に基づき作文する問題	30分	
Total	4-4.5時間		0-120

出典: CIEE ウェブサイトより抜粋

料は 230 ドル（試験日の 7 日前までの申込み）、270 ドル（オンラインで試験日 4 日前まであるいは電話で前営業日 17 時までの申込み）です。支払いはクレジットカードやドル建ての小切手での支払いとなりますので、注意してください。

\* 国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部 TOEFL 事業部ウェブサイト

URL: <http://www.cieej.or.jp/toefl/> （日本語）

\* ETS (Educational Testing Service) ウェブサイト URL: <http://www.ets.org/toefl/> （英語）

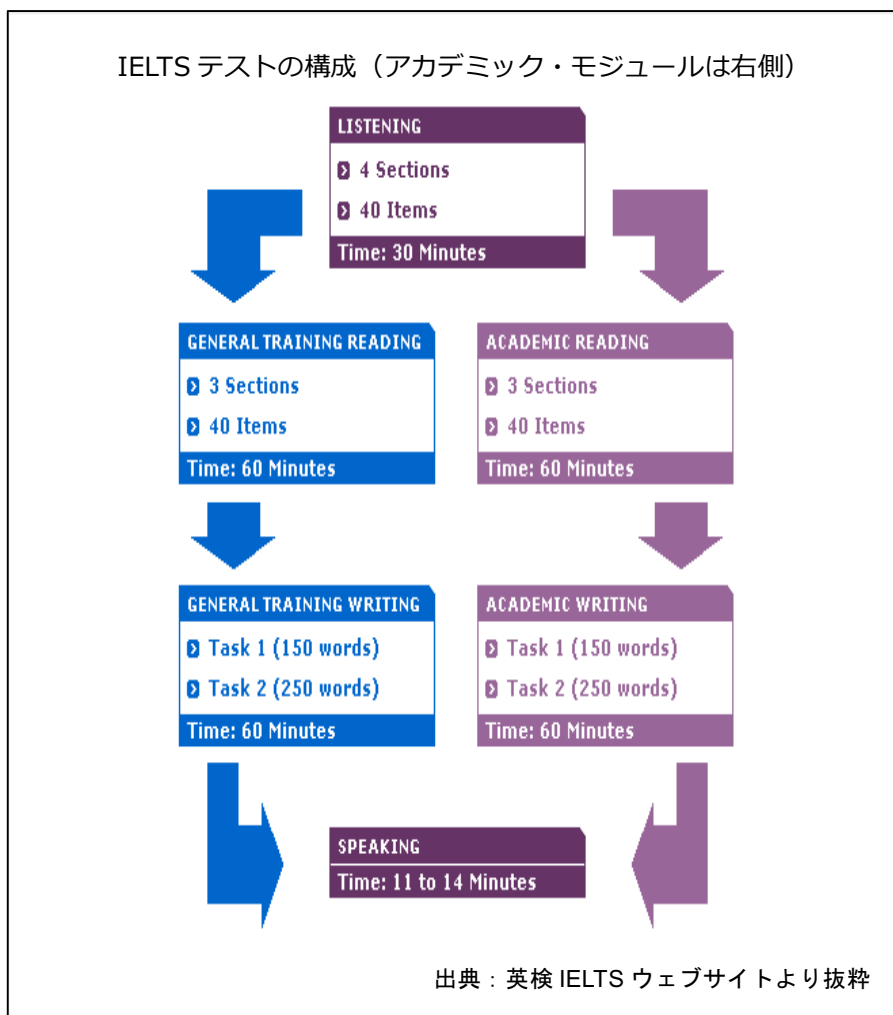
## ○IELTS (International English Language Testing System)

IELTS アカデミック・モジュールは、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド等の大学で英語力を測る基準として使われています。日本では、公益財団法人日本英語検定協会が運営主体となって実施しています。東京、名古屋、京都、大阪、神戸等全国 14 都市で、ほぼ毎週（主に土曜日）実施しています。ただし、実施会場は試験日により異なります。

IELTS は、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの四つのセクションから構成されます。テストの合計所要時間は、約 2 時間 45 分です。リスニング、リーディング、ライティングの筆記試験は同日に実施されます。各セクションの間に休憩時間はありません。スピーキングテストは、筆記試験の前後 6 日以内に、面接式（Face to face）で行われます。通常、東京と大阪の試験では、筆記試験の翌日に実施されます。詳しいタイムテーブルは、筆記試験の 2 週間前にマイページ上で公開される受験確認書で確認してください。

成績証明書（Test Report Form）には、総合評価としてのオーバーオール・バンド・スコアと各パートそれぞれのバンドスコアがテスト結果として表示されます。テスト結果は、受験日から 13 日目に発行し郵送されます。

IELTS は、申込みと受験にはパスポートが必要です。申込み締切りは、筆記試験日 5 週間前の金曜日午後 5 時までです。受験料（1 人 1 回あたり）は、25,380 円です。支払いは、クレジットカード、



コンビニエンスストア、郵便局 ATM から選択することができます。

\* 公益財団法人日本英語検定協会（英検）IELTS 事務局

URL: <http://www.eiken.or.jp/ielts> （日本語）

\* IELTS

URL: <http://www.ielts.org> （英語）

### ○ 実用英語検定（英検）

公益財団法人日本英語検定協会が運営、実施する日本で最も長い歴史を誇る英語検定試験です。筆記、リスニング、スピーキングのテストで英語技能を測定し合否を判定します。レベルは難易度の難しい順に、1 級、準 1 級、2 級、準 2 級、3 級、4 級、5 級が設定されています。

近年、英検は、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドの大学等の高等教育機関の一部で、留学時の英語能力を証明するテストとして認められています。英検 1 級、準 1 級を留学に必要な語学力として認める大学が多いようです。

\* 公益財団法人日本英語検定協会 URL: <http://www.eiken.or.jp> （日本語）

## 2 スペイン語

### ○ DELE（Diploma de Español Lengua Extranjera）

スペイン文部科学省公認のスペイン語力測定試験。スペイン語圏への留学、就職の際の語学レベルを保証するものとして国際的に認められており、日本では年 3 回実施されています。

レベルはヨーロッパ議会が定める基準に準拠しており、A1（入門）、A2（初級）、B1（中級）、B2（中上級）、C1（上級）、C2（最上級）があります。滋賀大学のスペイン語学習者に当てはめると、A1 が 1 回生修了レベル、B1 がメキシコ交換留学（1 年）修了レベルです。

\* セルバンテス文化センター東京 URL: <http://tokio.cervantes.es/jp> （日本語）

## 3 フランス語

### ○ 実用フランス語技能検定試験（仏検）

日本のフランス語学習者を対象に、文部科学省と在日フランス大使館文化部の後援を受け実施されるフランス語の技能検定試験です。試験日は春季と秋季の年 2 回あり（1 級は春季のみ）、関西では京都、大阪、奈良の各会場（奈良は 1 次試験のみ）で受験できます。

学習状況に応じて 7 つの級が設けられています。各級の程度は、1 級（フランス語を使う職業で即戦力となる高度な能力を身につけている）、準 1 級（様々な分野についてのフランス語を理解し、かなり複雑な事項も表現できる）、2 級（日常生活に必要なフランス語を理解し、かつ的確に発信することができる）、準 2 級（基本的運用力を身につけ、簡単な質疑応答ができる）、3 級（基本的なフランス語を理解し、簡単なフランス語を聞き話すことができる）、4 級（基礎的なフランス語を理解し、平易な内容の会話が）、5 級（初歩的なフランス語を理解できる）です。準 2 級以上は筆記・聞き取り・書き取りの 1 次試験と個人面接試験による 2 次試験があります、3 級以下の試験は筆記と聞き取りの 1 次試験のみです。

フランスの大学への留学には、準1級程度（フランス語の標準学習時間が500時間以上）のフランス語力が必要となります。

\* 仏検・公益財団法人フランス語教育振興協会 URL: <http://apefdapf.org/>（日本語）

## 4 中国語

### ○漢語水平考試（HSK）

中国政府教育部（日本の文部科学省に相当）の認定する中国語の語学検定試験です。

初級相当の1級から最も難易度の高い6級までの6段階の筆記試験と初級、中級、高級の3段階の口頭試験があります。HSK 証書は中国留学の際の基準や就職等の際に活用されています。

中国や台湾の大学に留学して正規授業科目を履修するためには、HSK6 級程度の中国語力が求められます。

\* 中国政府公認「中国語試験 HSK」 URL: <http://www.hskj.jp>（日本語）

## 5 韓国語

### ○韓国語能力試験（TOPIK）

韓国政府が認定する韓国語を母語としない学習者を対象とする試験です。

韓国語の普及や試験結果の学習、留学、就職への活用等を目的とするものです。受験レベルは初級、中級、高級の3つあり、成績により6段階の評価レベルに振り分けられます。

\* TOPIK 公式ページ URL: <http://www.topik.go.kr/>（韓国語、日本語等）